



がんによる意外な症状 ～腫瘍随伴症候群について～

順天堂医院がん治療センター
順天堂医院腫瘍内科
加藤 俊介

がんによる様々な症状



咳嗽(せき)



黄疸



便秘

がんの進行とそれに伴う症状

<症状>



①-③無症状



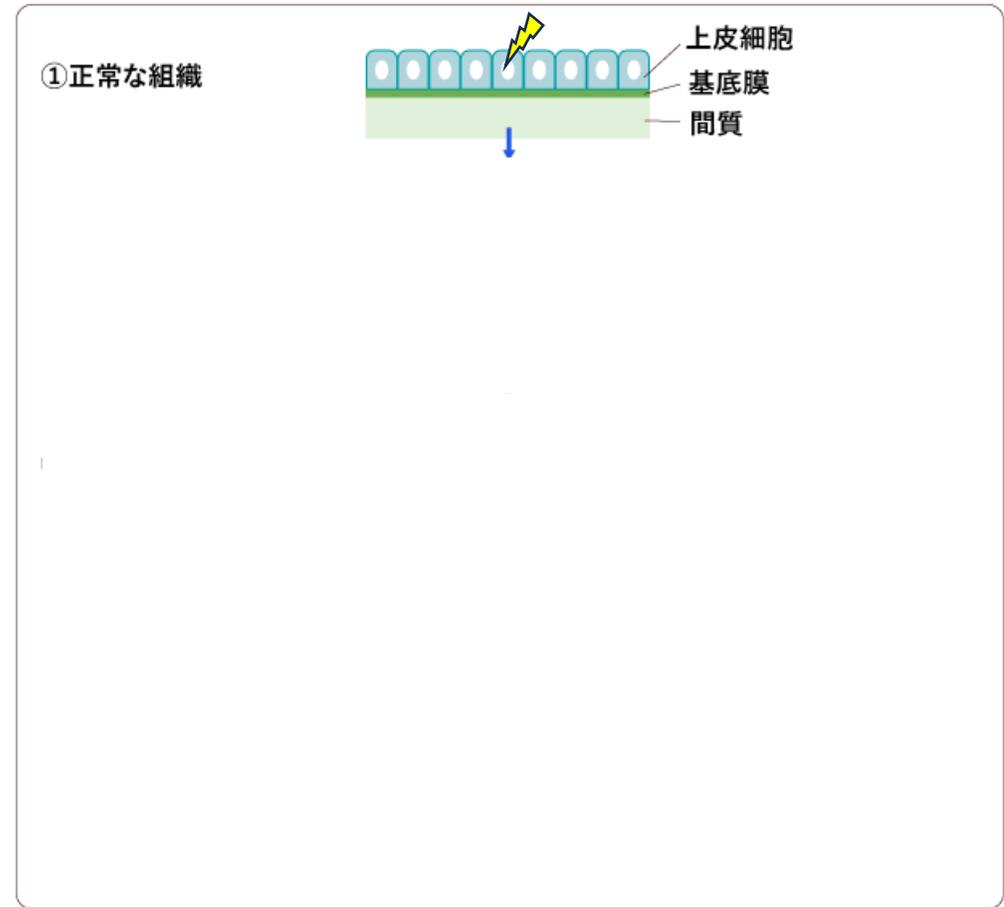
④肺がん…咳嗽



④直腸がん…便通異常



⑤肝転移…黄疸



国立がん研究センターがん情報サービス 『がん登録・統計』より

がんに伴う症状の多くは、原発または転移病変部位の腫瘍増大に伴う症状

がんは「できた場所」の症状だけではありません



頻尿



体重減少



顔が丸くなる
肩に肉がつく



胸痛



筋力低下



瞼が下がる



口渇



発熱



頭痛、麻痺



物が二重に見える



足のむくみ



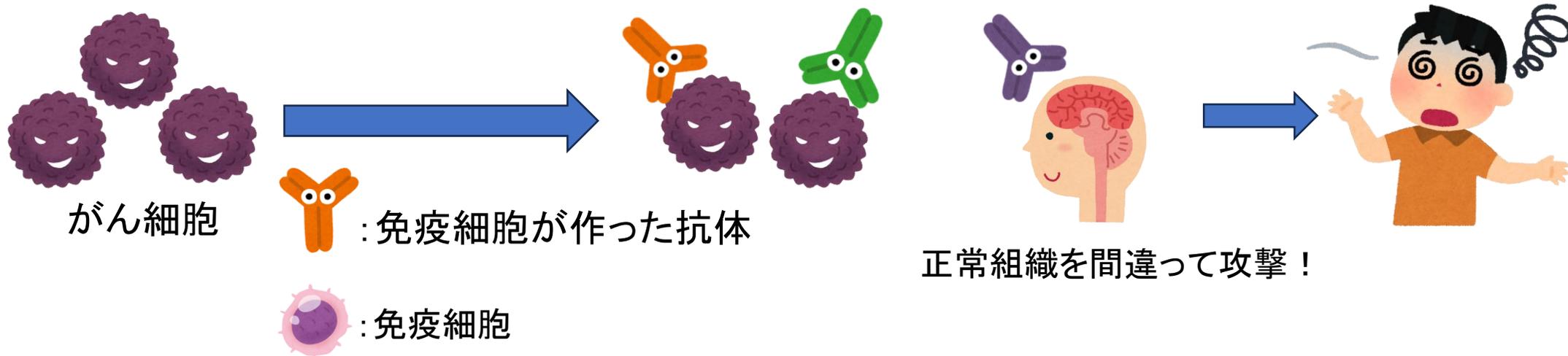
皮膚症状

なぜ、がんでは「できた場所」以外にも症状が起きるのか？

- ✓ がん細胞が勝手にホルモンなど体調に影響を与える物質を作り出す。



- ✓ がん細胞を排除しようとする免疫により、正常状態がかき乱される。

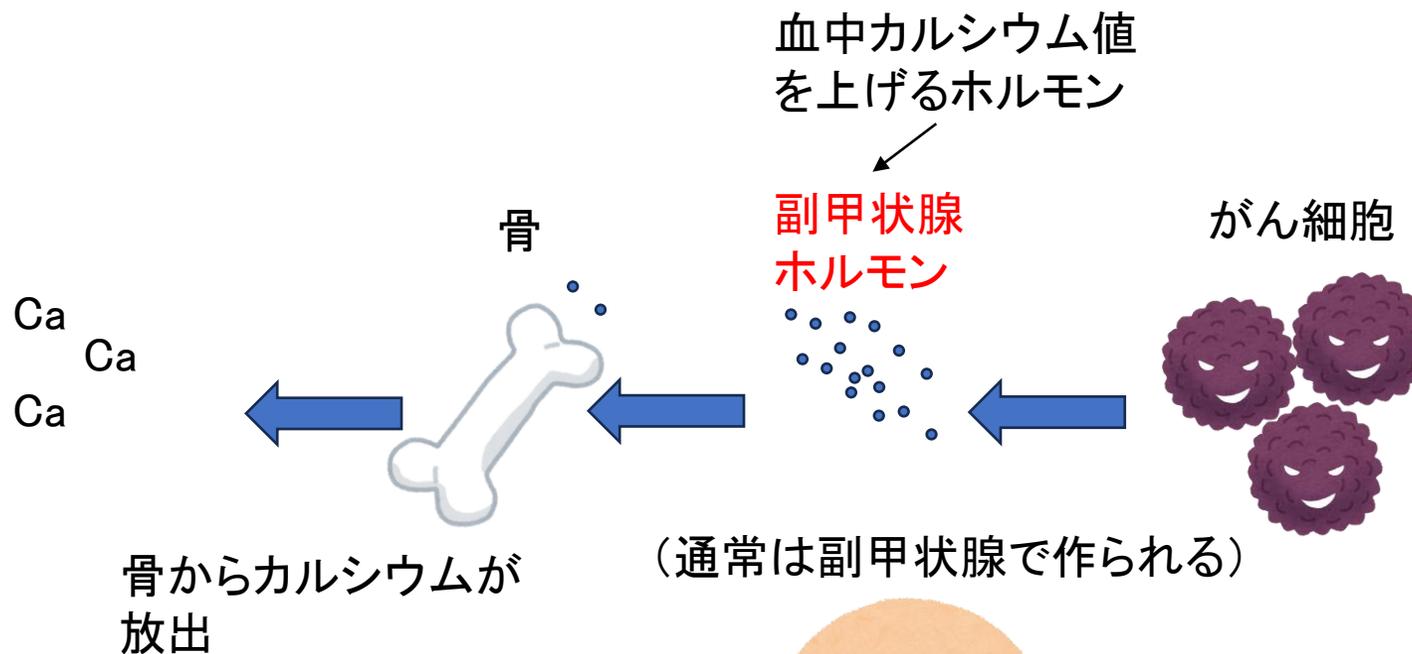


腫瘍随伴症候群

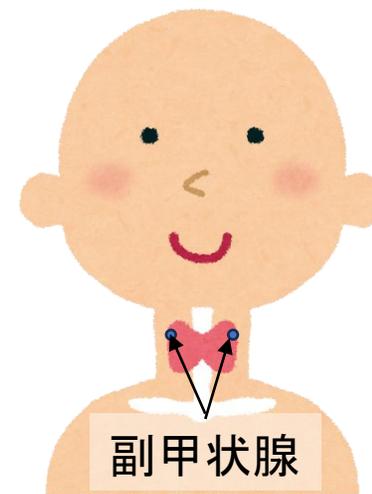
- ✓ 腫瘍による圧排や閉塞以外に見られる全身的な症状
- ✓ がん患者さんの5-10%程度で見られる
- ✓ 肺がん、乳がん、造血器腫瘍などで比較的多く見られるが、その他のがんでも起きる。
- ✓ 治療方法は、症状によって異なるが、基本はがんに対する治療。

例えば、こんな症状：口渇・多尿

- ✓ やたら喉が渇く、トイレが近い
- ✓ 水を飲んでも飲んで喉が渇く

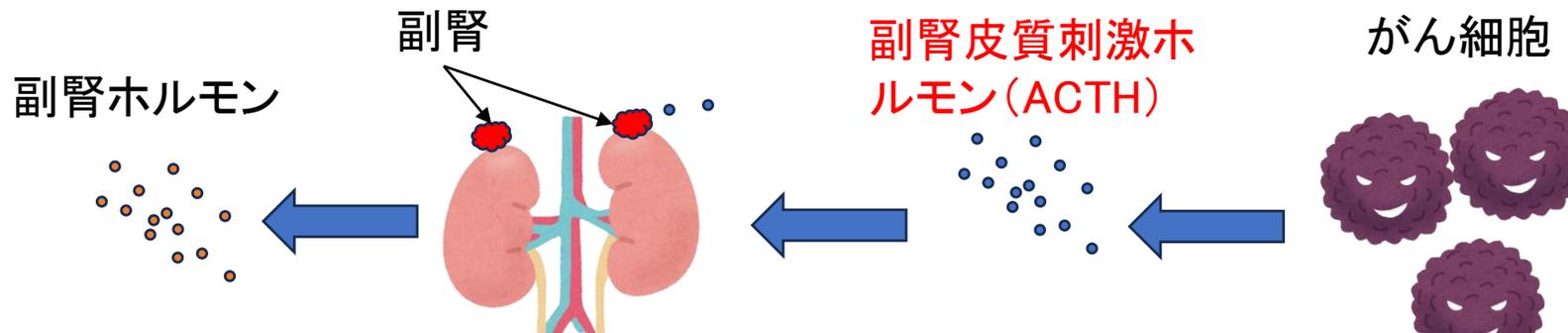


腫瘍随伴性体液性 高カルシウム血症



例えば、こんな症状：顔が丸い、肩に肉がついた

- ✓ 顔が丸くなってきた(満月様顔貌)
- ✓ 首の後ろや背中に脂肪が蓄積している
- ✓ 身体の真ん中が太っている(中心性肥満)



副腎に働いて、副腎皮質ホルモンを出させるホルモン

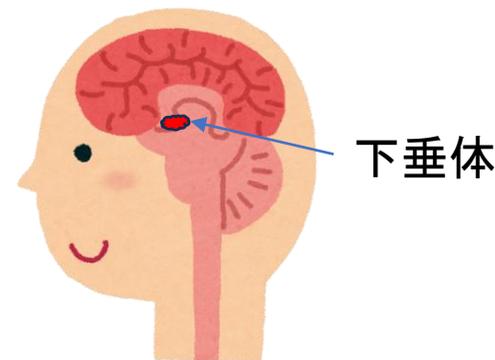
副腎皮質刺激ホルモン (ACTH)

がん細胞

(通常は下垂体で作られる)

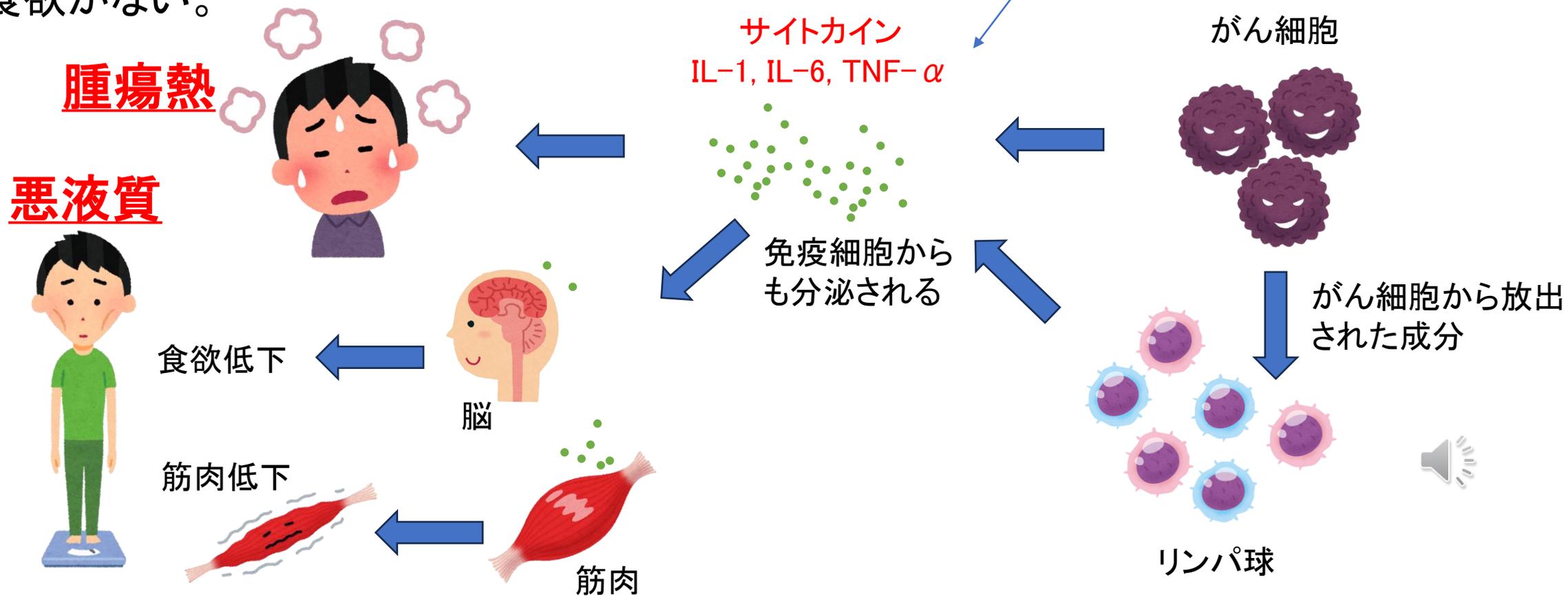
ACTH、副腎ホルモンの過剰分泌で起きる。そのほかに高血糖なども起きる。

異所性ACTH産生症候群



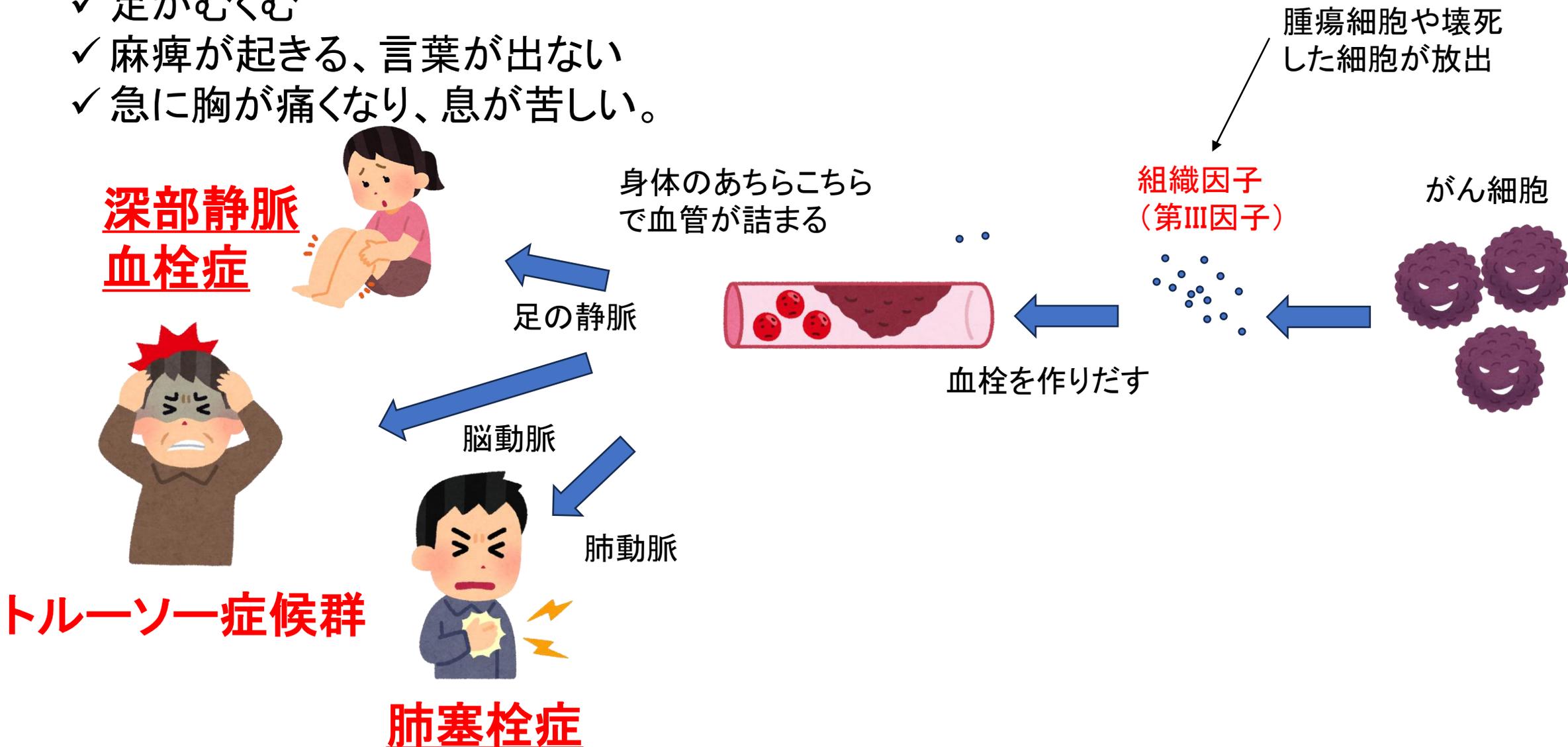
例えば、こんな症状：発熱、体重減少

- ✓ 発熱（比較的患者さんは元気）
- ✓ 解熱剤で下がりやすい。
- ✓ 食べても食べても体重が増えない。
- ✓ 食欲がない。



例えば、こんな症状：**脳梗塞**、**足のむくみ**、**血栓症**

- ✓ 足がむくむ
- ✓ 麻痺が起きる、言葉が出ない
- ✓ 急に胸が痛くなり、息が苦しい。



トルソー症候群

肺塞栓症

例えば、こんな症状：力が入らない。

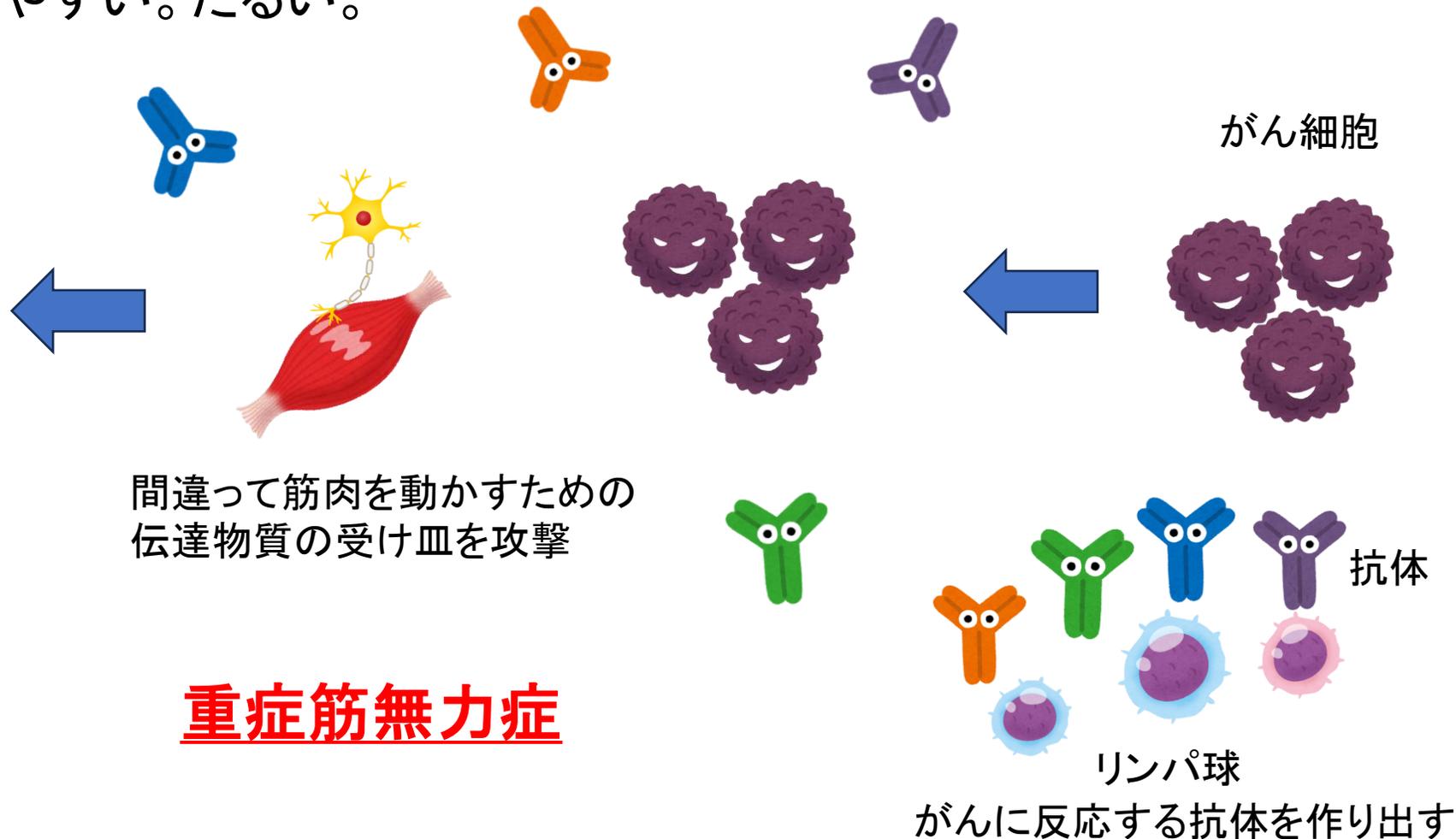
- ✓ 瞼が下がってくる。
- ✓ 物が二重に見える。
- ✓ 肩や股関節まわりが疲れやすい。だるい。



よく使う筋肉で症状が出やすい。
午後になると症状が出やすい



免疫チェックポイント阻害剤の副作用として起きることがあります。

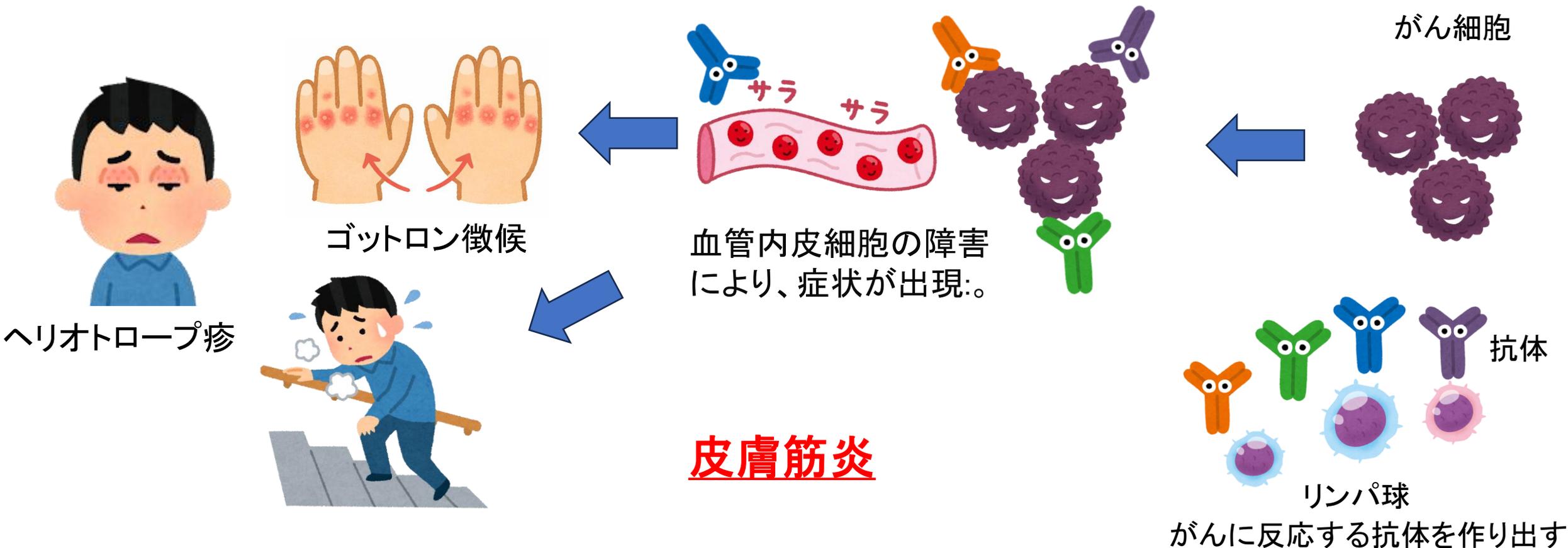


重症筋無力症

がん反応する抗体を作り出す

例えば、こんな症状：**顔の発赤疹**

- ✓ 上まぶたにむくみを伴う発赤疹が出る
- ✓ 手指の関節背面に出る皮疹
- ✓ 首、肩、太ももなど体に近い部位の筋力低下
- ✓ 咳や息切れ、易疲労感



まとめ

- ✓腫瘍随伴症候群とは、①がん細胞が勝手にホルモンを作ったり、②免疫状態がかき乱されて起こる症状。
- ✓がん患者さんの一部(5-10%)で見られます。
- ✓一般的ながんの症状に先立ち、症状が出てくるケースもあります。
- ✓治療方法は症状によって異なりますが、基本的にはがんに対する治療を行います。
- ✓何か気になる症状がありましたら、主治医に確認してみましよう。